

このメールは、日本女性薬剤師会が企画するセミナー・研修等に参加された皆様にお送りしております。

既にセミナー等に参加申し込みしている皆様にも重複してお知らせしておりましたらお許しください。

4月のトピックス

★薬局における疾患別対応マニュアル ～患者支援の更なる充実に向けて～

厚生労働省は、薬局薬剤師向けの「薬局における疾患別対応マニュアル」を取りまとめ公表しました。

マニュアルは医療計画上、重点的に対応が求められる5疾患として、がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患(気分障害、統合失調症、睡眠障害、認知症)を取り上げています。

5つの疾患別に疾患特性に沿った薬物療法や生活習慣の改善対策を盛り込んでおり、薬局現場で生じやすい疑問や課題をQ&A形式で掲載しています。

薬剤使用期間中の患者フォローアップ ～適正な薬物治療共同管理計画に向けたフォローを実施するために～

[3.8MB] 薬局薬剤師による調剤後のフォローアップの実施に当たり、上記マニュアルと本手引きを参考にすることが提示され、併せて厚生労働省ホームページに掲載されました。

糖尿病に関する作業部会メンバーの篠原久仁子氏が、7月20日開催の第一回医療安全 Web セミナーに登壇されます(高齢糖尿病患者のアフターフォローと地域連携—薬局における疾患別対人業務マニュアルから)。セミナー参加者募集中！案内チラシはこちら

https://www.jyoyaku.org/dl/schedule2/20250720_nichijyo.pdf

★2025年度日本女性薬剤師会薬剤師継続学習通信教育講座受講者募集開始

2025年度 薬剤師継続学習通信教育講座

新年度 2025年5月～2026年3月 | 募集開始！

8冊のテキストで学習し、スクーリングに参加すると年間 G16 認定単位 15 単位を取得できます。

男女共同参画事業
一般社団法人日本女性薬剤師会 研修講座

継続するほど身につく
医療人としての学びの習慣

通信教育講座のメリット

- ① 時間を選ばない
- ② 場所を選ばない
- ③ 持ち運びに便利
- ④ わかるまで繰り返し復習できる
- ⑤ 少ない費用で大きな研修単位 1年で15単位
- ⑥ 休職中の医療情報の補充にも

従来の学習に新シリーズを追加、
さらに内容が充実します!!

シリーズ1 学校薬剤師
シリーズ2 薬剤師免許でできる仕事
シリーズ3 子どもの薬の飲ませ方

見逃せない
3つの
シリーズ

男女共同参画事業
2025年度 日本女性薬剤師会 薬剤師継続学習通信教育講座

5月開講 1年間に
8冊を学習

認定薬剤師になろう!!

お問合せ
一般社団法人日本女性薬剤師会
事務局 TEL 03-5244-4857
FAX 03-5244-4077
E-mail: jwpa@khh.biglobe.ne.jp

第1回 痔瘻
- 正しい評価とケアを知る -

第2回 子どもの食物アレルギー
- なぜ減らない?子どもたちをどう守る? -

第3回 HIV感染とAIDS
- 水面上で増加する感染症 -

第4回 膀胱の病気
- ライフスタイルがもたらす現代病 -

第5回 医薬品とサプリメントの相互作用
- 消費者の安全確保と薬剤師の責務 -

第6回 性差医学・医療
- 予防、対策で案になる -

第7回 認知症
- 早期発見のめやす -

第8回 がん患者の栄養療法を考える
- 放射線治療とうまく付き合うために -

※年1回のスクーリングを受講する。
注)初回テキストの発行は、5月下旬を予定しています。

裏面もご覧ください

案内チラシはこちら https://www.jyoyaku.org/dl/tushin/tushin_leaflet2025.pdf

受講料： 女性薬剤師会会員 18,000 円
会員以外 22,000 円

1. 厚労省ホームページ更新情報

★[薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について\(令和7年4月16日適用\)](#)

2. 日女薬ホームページ更新情報 JWPA【一般社団法人 日本女性薬剤師会】(jyoyaku.org)

★2025年度 日本女性薬剤師会 学術講演会 参加者募集中

2025年 日 6/15 10:00▶16:05
ハイブリッド開催

男女共同参画推進事業
2025年度 日本女性薬剤師会 学術講演会

一般社団法人 日本女性薬剤師会

G16 認定単位 3.5

食べること ~食でつながる人のかかわり~

会場 AP新橋 詳細PDF

会場 AP新橋(D・Eルーム)

〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9 新橋プレイス4F
TEL:03-3571-4109 FAX:03-3572-3109

対象者 全国の薬剤師、薬学生

受講料

定員

事前登録:8,000円
(会場/Web参加同額)
当日参加:9,000円
(非会員参加同額)
学 生:2,000円

会場参加 150名 Web参加 100名
*当日参加若干名可 *当日参加不可

研修単位

日本女性薬剤師会G16:3.5単位

開催形式

ハイブリッド開催(Zoomウェビナー)

主催

一般社団法人 日本女性薬剤師会

後援

公益社団法人 日本薬剤師会
一般社団法人 日本病院薬剤師会

講演内容

● 最近の医薬行政

厚生労働省大臣官房審議官
(医薬担当) 佐藤 大作 先生

● 在宅療養における栄養管理

名寄市立大学保健福祉学部栄養学科
准教授 中村 育子 先生

● 在宅歯科診療と嚥下摂食・口腔リハビリテーション

医療法人社団 森 ごはながたべたい歯科クリニック
理事長 齋藤 貴之 先生

● 共食 ~地域で取り組む介護予防とその効果~

津田塾大学学芸学部 多文化・国際協力学科
准教授 木村友美 先生



Check!!
昼食は、各自ご持参ください

お申込み



各府県女性薬剤師会会員の方
日本女性薬剤師会個人会員
非会員・学生の方

ご所属の女性薬剤師会まで
(一社)日本女性薬剤師会事務局まで

申込方法は裏面をご覧ください。

案内チラシはこちらから → https://www.jyoyaku.org/dl/schedule2/20250615_nichijyo.pdf

★2025 年度第一回医療安全 Web セミナー開催のご案内 2025 年 7 月 20 日(日)

一般社団法人 日本女性薬剤師会
実践のヒントを得て 医療安全を考える！
一街の科学者として安全な薬物治療を支えるために—

医療安全Webセミナー
2025年度 第1回
高齢者の薬物療法

2025 **7/20** 日 13:00 ~ 16:30

Zoomウェビナーによるオンライン研修

G16 認定単位 **2**

詳細PDF

プログラム

13:10~14:10 (60分)	高齢者薬物療法のアップデート —今、薬剤師に求められていることは？— 国立長寿医療研究センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長 溝神 文博 氏
14:20~15:20 (60分)	薬局を地域のソーシャルキャピタルに —ウエルビーイングを支える場所として— 和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学 教授 岡田 浩 氏
15:25~16:25 (60分)	高齢糖尿病患者のアフターフォローと地域連携 —薬局における疾患別対人業務マニュアルから— (株)フローラ・恵比寿ファーマシー 篠原 久仁子 氏

講演資料は、今回より受講申込者に事前に電子的に提供いたします。

お問い合わせ

日本女性薬剤師会 jwpa@khh.biglobe.ne.jp

締め切りは 7 月 13 日、案内チラシはこちらから

https://www.jyoyaku.org/dl/schedule2/20250720_nichijyo.pdf

★ZOOM ウェビナー第 25 回老年薬学アップデート(2025 年 5 月 30 日)

特別回、無料、詳細お申し込みはこちら ↓↓↓

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/jsgp/130>

ZOOMウェビナー (特別回)
第25回 老年薬学アップデート

開催日 : 2025.5.30 (FRI)

開催時間 : 19:00~20:10

<プログラム>



演題 : ① 「老年学と老年薬学の意義」

講師 : 飯島勝矢

(東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 教授・日本老年薬学会理事)



演題 : ② 「摂食嚥下障害と錠剤嚥下障害」

講師 : 倉田なおみ

(昭和大学薬学部 社会健康薬学講座/臨床薬学講座 客員教授・日本老年薬学会名誉会員)

<詳細>

開催場所 : オンライン(ZOOMウェビナー開催)

付与単位 : 老年薬学会0.5単位付与 (LIVE受講の会員のみ)

参加費 : 会員・非会員共に : **無料** (要事前登録)

参加資格等 : 先着480名 医師、薬剤師、医療関係者

参加登録URL (こちらよりご登録下さい↓↓) :

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/jsgp/130>

参加登録期限 : 5月26日18:00メ切 (定員に達し次第メ切となります)

参加申込URL



このメールに関するお問合せ、配信停止のご連絡はこちらでお受けします。jwpasafety@gmail.com